

指導教員名	辻本 千春
-------	--------------

活動区分	地域活性化型	連携先	企業
	情報分析型		自治体・国

～ 「鮎屋地区の活性化」 ～

活動の様子

2021年10月9日(土)
『流通科学大学×洲本市域学連携事業』
最終発表会



流通科学大学
人間社会学部
観光学科
辻本千春ゼミ

Team Chiharu
平野 太一
伊藤 和輝
小林 新
マルコ ビヤンキ
ドティ オアン



取り組む課題

情報発信に関しては、8月の中間発表時にも途中経過を発表して評価をいただきましたので、本発表に向けてデータを整理してわかりやすくまとめました。マップに関しては、産学連携に力を入れている、堺市の真生印刷株式会社さんの協力のもとカラーのマップができましたが、QRコード等で動画をアップするところまではたどり着けませんでした。キャンプ場予定地に関しては情報がうまく集まらずにまともませんでした。

企画・活動概要

4月からの正式スタートでありましたが、コロナ禍の影響で思うように現地へ行けず、オンライン・フィールドワークも現地が大雨でキャンプ場予定地等の様子が分かりませんでした。ゼミとしては、情報発信、サイクリングマップ、キャンプ場の3つの視点から活性化を考えました。

本学(学生)の役割

ゼミメンバーで役割分担を決めて、情報発信、マップ、キャンプ場の担当をおこなった。企画書づくりも手分けしたが、それぞれが思い思いのフォームで作成したため、調整に手間取りました。



経緯・背景・目的

夏休みに、メンバー4名がレンタサイクルを借りて、洲本市のバスセンターから鮎屋の滝まで途中の風景を動画撮影しながら現地訪問して、滝周辺の視察とキャンプ場予定地を見学しました。SNSに関しては、ゼミとしてインスタグラムを立ち上げて、フォロワーにアンケートをとったりしました。



活動結果・成果・学生が成長した点・学生が身につけた能力

自分たちで企画をまとめようとしたが、人数は少ない中できる人に任せるところがありました。中間発表から10月の本発表までに中だるみがありました。最後は協力して何とか発表にこぎつけたと思います。現地のフィールドワークは協力し合ってよい企画を作りたい思いがあふれていたと感じました。地元の評価の結果の最終コメントでインスタグラムの調査やサイクリングマップは評価が高かったことが分かり、仕上げの発表の重要性をみんなが認識したのが大きな学びとなりました。

指導教員および関係者の紹介

<指導教員>

<関係者・企業等>

人間社会学部
観光学科
教授
辻本 千春 (ツジモト チハル)

<専門・担当科目等>
観光学原論、業界研究等

洲本市域学連携